科目名			担当教員	
高齢者福祉			石附　敬	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CD2170	2	1	RorSR（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

本科目は、高齢期の特徴、超高齢社会の諸課題について理解した上で、高齢者とその家族に対する諸制度と支援の方法について体系的に理解することを目的とします。全体的な学習の流れとしては、高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解を図り、それらを基礎知識として活用しながら、高齢者とその家族に対する支援方法についても学んでいきます。

スクーリングでは、高齢者（老い）の定義と特性、少子高齢社会と高齢者を取り巻く諸問題、高齢者保健福祉の発展過程、介護保険制度の概要とサービス体系、高齢者と家族に対する支援体制と方法について重要なポイントを中心に講義します。スクーリングの前と後に教科書を読むことでさらに学びを深めて行きます。レポート学習ではスクーリングや教科書で得た知識の活用と定着を目指します。

■到達目標

1）高齢者（老い）の定義と特性について理解し説明できる。
2）少子高齢社会の現状と高齢者を取り巻く諸問題について理解し説明できる。
3）高齢者に対する諸制度について理解し説明できる。
4）介護保険制度とサービスの体系について理解し説明できる。
5）高齢者を支援する組織と専門職の役割を理解し説明できる。
6）高齢者支援の方法について理解し説明できる。
7）高齢者福祉に関わる諸問題に関心を持ち、今後の課題について考えることができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 40%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

■教科書・参考図書

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉　第 2 版』中央法規出版、2025 年

（最近の教科書変更時期）2025 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。

【参考図書】

1）内閣府編『高齢社会白書』

※毎年発行内閣府 https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html

2）萩野浩基・長岡福祉会編『小山剛の拓いた社会福祉』中央法規出版、2016 年

スクーリング

▶仙台・オンデマンド開講分　石附　敬

■スクーリングで学んでほしいこと

「老いとは」「高齢者とは」何か、日本の高齢化の現状と高齢者を取り巻く諸問題、これまで高齢者福祉がどのように発展してきたのかについて学びます。その上で、高齢者の特に介護問題に焦点をあてて、対応する制度と高齢者とその家族への支援方法について学びます。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	高齢者（老い）の定義と特性①	身体的、精神的、社会的な老い
2	高齢者（老い）の定義と特性②	総合的な視点、事例
3	少子高齢社会と高齢者を取り巻く諸問題	少子高齢社会、健康・介護・経済・生活意識等
4	高齢者福祉の発展	戦後から介護保険制度の成立まで
5	介護保険制度の概要	制度の特徴、保険の仕組み、要介護認定、ケアマネジメント
6	介護保険サービスの体系	在宅サービス、施設サービス、事例
7	高齢者と家族に対する支援体制と方法	関係機関、専門職の役割、支援方法と留意点
8	スクーリングのまとめ、質疑応答	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング試験のみ（持込全て可）。スクーリング講義で説明した内容について理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の講義テーマに関係する箇所を事前に読んで、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

受講後は、体系的に知識を整理することと、それぞれの関心のあるテーマについて、書籍、論文、新聞記事など読み学びを深めてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	高齢者の定義と特性	高齢者の定義、老いの社会的、身体的、精神的側面について学ぶ。	教科書 P.1-16 を読み、老いの諸側面について理解したうえで、身近な高齢者を例に当てはめ高齢期に幸せに暮らすために何か重要か考えてみてください。
2	少子高齢社会	人口統計に基づく少子高齢化の実態について学ぶ。	P.17-24 を読み、日本の人口の高齢化の特徴、地域間格差の問題等について理解をしてください。内閣府の『高齢社会白書』も参考にしてください。
3	高齢者の生活実態	高齢者の経済・就業、健康、介護、社会参加、生活環境について学ぶ。	P.26-35 を読み、高齢者を取り巻く諸問題について理解する。
4	高齢者を取り巻く社会環境	高齢者世帯の特徴、家族による介護の状況、家族介護者への支援の問題について学ぶ。	P.36-47 を読み、現代における高齢者を支える家族の脆弱化と必要な支援の視点について理解する。
5	高齢者福祉の理念	高齢者観の変遷、エイジズム、生涯発達、サクセスフルエイジング、高齢者福祉の理念等について学ぶ。	P.49-54、67-72 を読み、高齢者観の変遷と現代における高齢者像、高齢者福祉の理念について理解する。
6	高齢者福祉の発展①	明治以降から老人福祉法制定前までの高齢者保健福祉の発展の流れについて学ぶ。	P.55-57 を読み、明治以降から 1963 年の老人福祉法制定までの流れについて理解する。
7	高齢者福祉の発展②	老人福祉法制定から現在までの高齢者保健福祉の発展の流れ、近年の介護保険制度の改正の方向性について学ぶ。	P.57-66 を読み、老人福祉法制定以降、人口に占める高齢者の割合の増大とともに制度がどのように改正されてきたのか理解する。
8	介護保険制度の概要	介護保険制度の枠組み、財政、保険者と被保険者、保険料、認定のプロセス等について学ぶ。	P.73-90 を読み、介護保険制度の仕組みについて理解する。
9	地域支援事業	地域支援事業、地域包括支援センターの役割について学ぶ。	P.91-99 を読み、市町村が取り組む地域支援事業と地域包括支援センターの機能、三職種、役割について理解する。
10	介護保険サービスの体系	居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、施設サービスについて学ぶ。	P.100-115 を読み、サービスの 4 つの枠組み毎に具体的サービスの内容を一覧にまとめて理解する。
11	高齢者に対する関連諸制度①	高齢社会対策基本法、高齢社会対策大綱、老人福祉法について学ぶ。	P.117-134 を読み、高齢社会対策基本法に基づき、様々な法律が関連していること、老人福祉法の理念等を理解する。
12	高齢者に対する関連諸制度②	高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法について学ぶ。	P.135-156 を読み、各法律の概要について理解する。
13	高齢者に対する関連諸制度③	高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援について学ぶ。	P.157-183 を読み、各法律や市町村独自の支援の概要について理解する。
14	関係機関と専門職の役割	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。	P.185-205 を読み、各機関や専門職の役割について理解する。

15	高齢者と家族に対する支援方法	アセスメントとコミュニケーション、個人へのソーシャルワークとケアマネジメント、家族への支援などについて学ぶ。	P.207-228 を読み、高齢者と家族への支援方法と留意点等について理解する。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	我が国の人口の高齢化の特徴と高齢者を取り巻く諸課題を述べたうえで、今後どのような取り組みが必要となるのか、学んだ知識をいかしてあなたの考えを述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

高齢者福祉は、「老い」「高齢者」とは何か、なぜ高齢者に対する支援（制度）が必要なのか、世界との比較で日本の人口の高齢化はどのような特徴があって、それによってどのような課題に直面しているのかという老いと社会の問題を学ぶことが第 1 段階です。その理解をベースに、次に高齢者と家族を支援する介護保険等の制度やサービス、支援の方法について学びます。この科目で学ぶ内容は、単に知識として学ぶだけでなく、身近な高齢者やお住いの地域の実情に当てはめて考えることが大切です。また、皆さん自身がどのような老いを迎えたいか、もし介護が必要になった時にどこでどのように暮らしたいか、親に介護が必要になった時自分でできることは何か、またそのような希望に近づけるために今から何ができるのかなど、知識と経験をいかして考えることが大切です。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

我が国の人口の高齢化の特徴は、高齢化率が世界で最も高く、その進行が急速であること、都道府県や市町村レベルでの格差が大きいことなどがあります。また、世帯構造の変化という点では高齢者のみ世帯、高齢単身世帯の増加も見られます。これら人口構造の変化を背景に、高齢者の生活がどう変わりどのような課題が浮上しているのか、そしてそれらの課題に対してどのような取り組みが今後必要となるのか、学んだ知識をいかしてあなたの考えを述べてください。参考資料としては、教科書や『高齢社会白書』などを活用すると良いでしょう。

字数は、1,800 字以上でまとめてください。1,800 字未満では再提出になる可能性が高くなります。

科目修了試験

■評価基準

〈アドバイス〉

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めてください。

1）「地域包括支援センターの役割と業務内容」について記述してください。（第 4 章第 2 節 p.95-99）

※地域包括支援センターの役割と業務について理解しているか。

2）「地域密着型サービスの内容」について記述してください。（第 4 章第 3 節 p.106-111）

※地域密着型サービスについて理解しているか。

3）「エイジズムとは何か」について記述してください。（第 3 章第 1 節 p.51）

※エイジズムについて理解しているか。

4）「高齢者とコミュニケーションをとる際の留意点」について記述してください。（第 7 章第 1 節 p.208-210）

※高齢者とコミュニケーションをとる際の留意点について理解しているか。

〈評価基準〉

問題は 1 問ですが、以下を評価の基準とします。

1）キーワードを適切に使用しているか。

2）自分の言葉で整理して述べられているか。

3）現実との関連づけがされているか。